

森のホール21開館25周年記念事業ファイナルコンサート

ブランデンブルグ国立管弦楽団 フランクフルト

指揮
浮ヶ谷孝夫
Conductor: Takao Ukigaya

ベートーヴェン

Beethoven

「プロメテウスの創造物」序曲

Prometheus Creatures Op.43 No.1 Overture

交響曲第5番 八短調 「運命」

Symphony No.5 in C minor Op.67

交響曲第3番 変ホ長調 「英雄」

Symphony No.3 in E flat major Op.55 "Eroica"

Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt

2019 **6 | 1** (土) 14:30開場 15:00開演 **松戸市 森のホール21 大ホール**

全席指定: 2,500円(税込)
主催: (公財)松戸市文化振興財団
共催: 松戸市 / 松戸市教育委員会
協力: 新京成電鉄株式会社
株式会社アイエム
後援: ドイツ連邦共和国大使館

【お問い合わせ・お申込】
森のホール21チケットセンター
TEL.047-384-3331
営業時間 10時~19時(月曜日休館: 祝日の場合は翌日)
<http://www.morinohall21.com>

注意事項: 未就学児童入場不可 / 車椅子の方は森のホール21チケットセンターにお問い合わせください。 / 森のホール21駐車場は大変混雑します。電車・バスをご利用ください。

【お申込】
ローソンチケット: (Lコード: 30107)
TEL.0570-000-407 (オペレーター対応 10時~20時)
●チケットぴあ: (Pコード: 139-793) TEL.0570-02-9999
●イープラス: <http://eplus.jp/> (パソコン&ケータイ)
●CNまつど: TEL.047-330-1878
●Ro-Onチケット: TEL.047-365-9960



ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト

<http://bsof2019.jp>

一般販売日 1月27日(日)

公演終了後、松戸市立第六中学校管弦楽部による記念演奏を行う予定です。

Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt



浮ヶ谷孝夫 (指揮者)

Takao Ukigaya, *Conductor*

1953年埼玉県川口市生まれ。世界の最前線でタクトを振る、日本を代表する指揮者の一人。1978年に渡独してベルリン芸術大学指揮科のヘルベルト・アーレンドルフ教授に師事。カラヤン、ハンガリー、両国際指揮コンクールで受賞。1986年にはポメラニアン・フィル(ポーランド)のドイツ演奏旅行の指揮者に抜擢され、欧州でデビューを果たす。1987年より、同オーケストラの専属指揮者に就任。多数のドイツ演奏旅行やCD録音で高い評価を得る。1989年より「北ドイツ放送ラジオフィルハーモニー ハノーファー」と多数のCD録音。「ポーランド国立放送交響楽団」の専属客演指揮者。1996年に「ドイツ・フィルハーモニア・ウナリカ」日本ツアー。1999年に「北西ドイツ・フィルハーモニー」日本ツアー。2001年、2005年に「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」日本ツアー。2003年には「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」の首席客演指揮者に就任。2010年より愛知県豊橋市の「豊橋青少年オーケストラキャンプ」を立上げ、毎年多くの演奏家の育成に尽力。2013年より東京都主催「歴史的建造物保全プロジェクト・マエストロ浮ヶ谷プロデュースコンサート」を担当。現在は日本の交響楽団にも招聘され、多くのファンを持つ指揮者。ドイツ在住。夫人はフルート奏者の浮ヶ谷順子さん。

ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト

Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt

ドイツ、ブランデンブルグ州オーデル湖畔にある「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」は、1971年にクライスト歌劇場管弦楽団とフランクフルト文化オーケストラが合併して成立。1990年、ニコス・アティネオスが主席指揮者として就任後、同指揮者のもとで目を見張るような芸術的飛躍を遂げ、1995年に「フランクフルト国立管弦楽団 Frankfurtr Staatsorchester」として国立オーケストラの地位を獲得。2005年「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」となりました。ベルリンのフィルハーモニー・ホールやシャウシュピールハウスを始め、ドイツ国内の各都市やヨーロッパ各国での演奏旅行を成功させており、ギドン・クレーメル、ムスティスラフ・ロストロポーヴィッチ、アナトール・ウゴルスキーなどの一流アーティストとも共演している。また、19~20世紀にかけて活躍した作曲家の作品を積極的にCD化しており、ボリス・ブラヒャーの作品を収めたCDがフランスのレコード賞「ディアパーソン・ゴールドメダル」を受賞し、話題を呼びました。2001年、2005年に続いて今回は3度目のジャパントゥアーとなります。次世代を担うオーケストラとして世界的に注目を浴びています。

